

船の事故	発生日	発生県	船舶種類	事故形態
	9月26日(月)	長崎県	貨物船	単独衝突
	9月30日(金)	福岡県	その他	運航不能
	10月1日(土)	福岡県	プレジャーボート	運航不能
	10月1日(土)	長崎県	プレジャーボート	運航不能
	10月2日(日)	佐賀県	プレジャーボート	乗揚
	10月2日(日)	長崎県	プレジャーボート	乗揚
人の事故	発生日	発生県	事故区分	事故内容
	9月26日(月)	福岡県	マリレ以外の海浜事故	海中転落
	9月28日(水)	長崎県	船舶海難によらない乗船者の人身海難	病気
	9月29日(木)	長崎県	マリレ以外の海浜事故	海中転落

**【特集】 運航不能海難3件発生！
機関故障は
しょうがない！**

【問合せ先】
第七管区海上保安本部交通部 安全対策課長 古場
安全対策調整官 川部
TEL：093-321-2931（内線2640）

過去10年間のプレジャーボート海難のなかで、運航不能(機関故障)が最も多く発生しています。しかし、機関故障の多くは**発航前の検査や定期的な部品交換**等で防ぐことができます。それにもかかわらず、「機械には詳しくないし...」「時間がかかりそうで面倒だな...」と敬遠されがちです。今回の特集を機に、自己点検スキルを磨いてみませんか。

step1. 発航前検査

- ◇バッテリー:十分な液量、ターミナルの緩みなし、適当な電圧
- ◇燃料:十分な量、フィルターの目詰まりなし、水分の混入なし
- ◇潤滑油:適度な量・粘度、水分の混入なし、フィルターの目詰まりなし
- ◇取付け:ボルトの緩みなし、固定状況よし
- ◇冷却水:取入口付近及びフィルターにごみなし



詳しくは右の二次元コードからチェック！
(プレジャーボートの安全運航のために)



step2. 部品交換

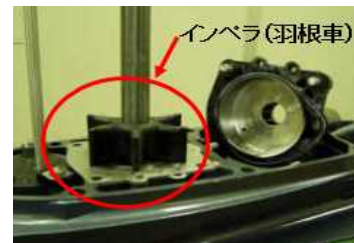
◇潤滑油・潤滑油フィルターの交換

潤滑油が黒色に近い場合は劣化、乳白色に近い場合は水分の混入が考えられるため、潤滑油の交換をおすすめします。交換する場合は、同一の銘柄を使用してください。また、フィルターの汚れが著しい場合も交換しましょう。燃料系統も同様です。



◇インペラの交換

船外(内)機の検水口から出る冷却水の量が少なかったり、勢いが弱かったりする場合、機械内のインペラの故障が考えられます。これが故障すると冷却水が必要量供給されなくなるためオーバーヒートを引き起こすおそれがあります。インペラも消耗品です。確認し、劣化していれば交換しましょう。



新品のインペラ

劣化したインペラ

インペラはゴム製のため、劣化すると羽根部分がポロポロになります。羽根が一枚でも欠けていたら、エンジンを守るために交換しましょう。



◇防食亜鉛(アノード)の交換

防食亜鉛(アノード)は、自らが腐食することで電食による金属部分の腐食を防止する作用をしています。このため、防食亜鉛はポロポロと崩れ落ちるよう消耗されます。亜鉛部分が半分以上減っている場合は交換してください。

左の船外機は、防食亜鉛が機能している状態です。
右の船外機は、防食亜鉛が消耗しており十分に機能していないため、船外機本体まで腐食が及んでいます。



**作業前に必ず取扱説明書をよく読んでから作業してください！
少しでも整備に不安を感じたら必ず整備業者に相談・依頼しましょう！**

